

2年生ブックトーク図書紹介

7月6日に、学校司書が2年生にブックトークをしました。今回は、『ともだち いろいろ』というテーマで、自然科学よみものや詩、一人で読める読み物を紹介しました。紹介した本はこちらです。



『アリとくらすむし』

島田たく/写真・文/ポプラ社

アリからえさをもらう虫、アリを食べてしまう虫、アリと助け合う虫。いろいろな虫がいましたが、アリの本当のおともだちとは、どんな虫でしょうね。この科学絵本の読み聞かせから、ブックトークをスタートしました。

『ともだち』

谷川俊太郎/玉川大学出版

ともだちってどんなひとのことをいうのかな、ともだちとどうしたらいいのかなと思ったときにぴったり。絵と短い文で、ともだちについて書いてあります。

ともだち

谷川俊太郎・文 杉田誠・絵



『アリクイありえない』

齊藤洋/理論社

「ありえない！」って言われるかもしれないけれど、ぼくの部屋には日曜ごとにナマケモノかアリクイが来るんだ。くるものはしかたがないし、ぼくはいやじゃない。さて、彼らがくるとどんなことが起こるのでしょうか-----。

『いぬうえくんがやってきた』

(いぬうえくんとかまざわくんシリーズ)

きたやまようこ/あかね書房

いぬのいぬうえくんとかまのくまざわくん。ふたりはともだちになり、いっしょにくらすことになりました。くまざわくんはのんびりおっとり。いぬうえくんは言いたいことをはっきりいうタイプ。ふたりのくらしはうまくいくのでしょうか。というおはなし。おすすめは4巻目の『くまざわくんのたからもの』です。

『イヌのいいぶん・ネコのいいわけ』

なかのひろみ/福音館書店

仲良くなるつもりでイヌやネコに近づいても、逃げられたり怖がられたり…なかなかうまくいかないこともあるのではないのでしょうか。

それはね、彼らにも気持ちがあるからなのです。イヌやネコとなかよくなるためのひみつがたくさんあります！



ブックトークとは...

あるテーマに沿って本を紹介する活動です。ポイントを紹介して「読んでみようかな」という気持ちを引き出します。